

## 学校図書館がどうしても必要なの？

子どもが本を読むということは、言葉を学び、また概念を理解する力を身につけるといふことで、人間にとって大変重要なことです。これは「考える力」を身につけることだからです。また、物語を楽しむ体験は豊かな「想像力」を育み、人生の困難に出会ったときにそれを乗り越えていく強さを与えてくれます。このような基礎があつてこそ、人生をより深く生きることが可能となります。

すべての子どもが、そのような読書活動を行うことができる環境としては、学校図書館においてほかにありません。家庭環境に左右されることなく、すべての子どもが学校に通うのですから。その学校図書館が、現在本当に子どもたちに質の高い読書環境を提供しているかどうか、もう一度考えてみませんか？

### 学校図書館は

- ・ 日本中の公立学校にあります。
- ・ あるということに関しては公平です。
- ・ 子どもたちが生活の大半を過ごす学校にあります。
- ・ 影響の大きい読書環境です。
- ・ しかし、その内容は千差万別です。



栃木子どもの本連絡会「学校図書館を考える」プロジェクト

平成二十三年十二月発行

### 【どんな学校図書館ならいいの？】

—学校図書館に並んでいる本を見てください—

「どんな本が並んでいますか？」

例えば

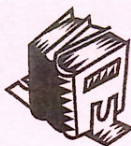
☆ 日焼けして背表紙も読めないような古い本が並んでいますか？

☆ 資料としては古いデータで使えない本や、辞典などが入っていませんか？

① 子どもたちの興味関心にこたえ、読む楽しみを満たしてくれる本は充実していますか？（昨年の栃子会員へのアンケートでは読み聞かせに使えるような絵本、読み物が少ない、との回答が多かった）

② 教育計画にそった適切な資料としての本は充実していますか？

どんな本が並んでいるか、学校図書館に行つて見てみましょう。問題は、その棚に並んでいる本の質ですね！





## 【本を手渡す人はいますか？】

—本があったとしても、それを手渡すのは人！—

「学校図書館に常駐している人はいますか？」

まず、人がいなければ図書館を開けておくことすらできません。

①学校には司書教諭がいますか？

12学級以上の学校には全校配置されていますが、11学級以下の学校栃木県中学校67.1%小学校57.7%では司書教諭の配置はほとんど行われていません。また、司書教諭は担任を持っていることが多いので、いつも学校図書館にいるわけではありません。

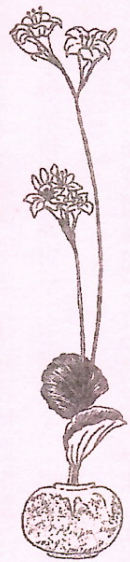
②学校図書館で働く司書がいますか？

宇都宮市と芳賀町には全小・中学校に専門・専任の司書が配置されています。(司書、担当事務職員の配置状況はリーフレットその6・7を参照してください)でも、その他の市町の学校図書館にはほとんど司書はいません。

③司書教諭も司書もない学校図書館は？

いったい、誰が運営するのでしょうか？休み時間に図書委員が貸し出しをするだけの図書館だったら、当然利用者は少なくなります。

子どもたちの心に本を届けるには、本の事をよく理解した水先案内人が必要なのです。



「ボランティアでも学校図書館にいる人とみなして良いのですか？」

①県内でも学校図書館に関わるボランティアは多くなっています。

②やっている内容は、図書整理点検、分類、新刊本の受け入れ事務、などが主なようですが、中には学校図書館の壁面飾り付けや廃棄なども手がけているグループもあるようです。

でも、ボランティアに学校図書館の運営ができるでしょうか。-2-  
司書の肩代わりができるでしょうか。あくまでもボランティアは学校図書館にかかわるお手伝いしかできません。ですからボランティアが入っていたとしても、専任の人がいないかぎり人のいる学校図書館にはなりません。

また、ボランティアが入る事により、行政側に「ボランティアで間に合うから司書がいなくても良い」などと思われては本末転倒です。ボランティアで入る私たちも自分の立ち位置の確認を忘れないようにしましょう。

学校図書館には運営をつかさどる司書教諭、資料に熟知した司書、そしてお手伝いをするボランティア、がいるといいですね。



【学校図書館を授業で利用していますか？】

「平成23年度子ども読書活動優秀実践校」として、宇都宮市立東小学校・上三川町立上三川北小学校が文部科学大臣賞を受賞しました。両校とも読み聞かせなどに力を入れ、児童と学校図書館をより近い存在にする取り組みが評価されたものです。

東小学校は、12学級301人（5/1現在の学校です。平成18年には、感動体験の積み重ねと調べ学習の場となる

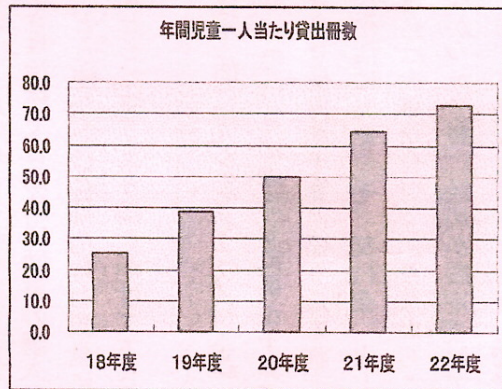
ように、学校図書館を「学習情報センター」と位置付け、その機能の充実を図り、常駐する学校図書館司書との連携した活動をしています。

授業でも学校図書館を活用して調べ学習をしたり、国語などの授業に担任のほか学校図書館司書が関わり、ブックトークや読み聞かせなどを行ったりしています。（平成22年度 394回）

児童にとっても学校図書館は、とても身近な存在になっているようです。



学校司書による授業の風景



このページは、栃木県宇都宮市立東小学校のHPを参照して作りました。

右図は、東小学校の一人当たりの年間貸出冊数の推移を表したものです。

平成18年度は、宇都宮市内の小学校に学校司書が配置された年です。この表から見ても、児童の学校図書館利用の着実な伸びが見てとれます。

東小学校司書が心掛けていることは、児童一人一人の興味を把握し、「児童が調べ学習でつまづいた時や課題に合わせて、その子に合ったアドバイスができる」ことだそうです。

学校図書館を授業に大いに活用し、児童にとってより身近な存在にすること、また、必要な資料が揃い、それを提供できる人が常にいること(学校図書館司書の配置)の大切さを改めて感じます。



## 【地域格差をなくして教育力を高めるには？】

- ・明るく開放的で利用しやすく、子どもが校内にいる間、常に開館している学校図書館
- ・授業内容を豊かにできる資料と、読む楽しさを満たしてくれる本の充実した学校図書館
- ・手渡す人（専任の司書）がいつもいる学校図書館

このように充実した学校図書館がある一方、そうでない学校図書館も数多くあります。県内を見るだけでも地域格差があります。子どもたちは平等な教育を受ける権利があるのに、その教育に格差が生じています。

栃木県の読書指針である県の読書推進計画（2次）では、親子読書（家読）への薦めに力を注いでいますが、それと同時に大きな効果が期待できると考えられる学校図書館の充実に目を向けて欲しいものです。県内にある地域格差をなくして、栃木の未来を担う子どもたちのために予算を充てて欲しいものです。

## 【図書費について】

国から次のような交付金が支給されています。  
あなたの自治体は活用していますか？（資料1参照）



### 『学校図書館図書整備費』

国は平成5年に「学校図書館図書標準」を制定し、「学校図書館図書整備新5ヵ年計画」で総額500億円を地方財政措置し、小・中学校の学校図書館の蔵書を1.5倍にする図書充実施策を実施しました。しかし、この標準に達した学校図書館は少なく、さらに平成14年より新たな5ヵ年計画が始まりました。この施策は総額650億円を地方財政措置したのですが、まだ図書標準に達した学校は少なく、第3次の5ヵ年計画が平成19年より始まりました。これは総額1000億円、毎年200億円が措置されています。

ただし、これらの図書整備費は、地方交付税で措置されたもので、各自治体で自動的に図書の購入費になるわけではありません。どう使うかは各自治体の裁量にまかされていますので、図書費として使うよう働きかけて下さい。

### 『住民生活に光をそそぐ交付金』

平成22年12月に成立した補正予算で、地域活性化交付金として3500億円が予算に盛り込まれ、その内の1000億円が「住民生活に光をそそぐ交付金」として予算化されました。この交付金は大事な分野でありながらこれまで光が十分当てられてこなかった分野に活用が限定されています。児童虐待防止や自殺予防、不登校対策などと並んで学校図書館の充実などが想定項目に挙げられています。あなたの自治体では？



**資料1** 学校図書館図書費の予算化及び子どもの読書活動の推進に関するアンケート

月刊「学校図書館」2011年8月号より参照

栃木県	問1	問2		問3		問5	問6
	平成21年度の当初予算に「新学校図書館図書整備5か年計画」に基づき「学校図書館図書費」として予算化しましたか	小学校1校あたりの図書購入予算額(円)	中学校1校あたりの図書購入予算額(円)	「住民生活に光をそそぐ交付金」を平成22年度の補正予算で図書費を予算化したか	平成22年度の補正予算で図書費を予算化した金額(円)	「子ども読書活動推進計画」の策定	「文字・活字文化振興法」施行に伴う施策への取り組み
宇都宮市	1	541,985	1,352,400	1	29,561,000	4	2,4,5,8,9
足利市							
栃木市							
佐野市	1	626,786	845,000	1	25,000,000	1	1,2,4,5,7,9
鹿沼市							
日光市	3	181,192	177,000	1	8,200,000	1	3,9
小山市	1	725,296	1,293,636	2		5	1,2,3,5,7,9
真岡市							
大田原市	3	322,783	681,667	1	6,300,000	6	1,5,7,9,0
矢板市							
那須塩原市	1	280,000	500,000	1	3,500,000	6	1,2,4,7,9
さくら市	3	545,000	800,000	2		1	4,7,9
那須烏山市	1,3	200,000	200,000	1	8,823,000	3	2,5,7,9
下野市							
上三川町	3	0	0	1	7,111,000	3	1,2,4,7,8,9
西方町							
益子町	3	1,050,000	1,050,000	1	7,350,000	6	9
茂木町							
市貝町	3	300,000	750,000	2		6	1,9
芳賀町							
壬生町							
野木町	3	271,600	598,500	1	5,600,000	1	5,7,9
岩舟町							
塩谷町	1	314,667	997,000	2		6	1,4,5,9
高根沢町	3	308,500	633,000	1	5,020,000	1	4,5,7
那須町							
那珂川町	3	216,167	252,500	1	3,600,000	1	5,7,9

**【凡例】**

**問1**

- 1=当初予算で予算化
- 2=補正予算で予算化予定
- 3=地方財政措置に関係なく独自で予算化

**問3**

- 1=予算化した
- 2=予算化していない

問4については省略しました

**問5**

- 1=すでに策定した
- 2=平成23年度中に策定の予定である
- 3=現在策定を検討中である
- 4=以前に策定した「推進計画」を改訂した
- 5=以前に策定した「推進計画」を改訂作業中である
- 6=策定する予定はない

**問6**

- 1=「学校図書館図書標準」を達成するため図書購入費の予算化の推進
- 2=小規模校への司書教諭配置の推進
- 3=司書教諭の学校図書館担当時間の設定または専任化などの推進
- 4=学校司書配置の推進
- 5=ブックスタートの普及による子育て支援の推進
- 6=公立図書館未設置市町村における設置の推進
- 7=公立図書館の図書充実の推進
- 8=地域文庫など民間読書推進団体への支援
- 9=朝の斉読書や読み聞かせなどの取り組みの普及
- 0=その他



## 資料 2

2011年6月1日 学校図書館の機能強化を目的とした「学校図書館活性化協議会」が設立されました。同協議会には、子どもの未来を考える議員連盟、文字・活字文化推進機構、学校図書館整備推進会議が参加しています。会長は自民党衆議院委員の河村健夫氏、事務局長は民主党衆議院議員の泉健太氏です。活動計画は以下です。

学校図書館活性化のための活動計画

平成23年6月1日

### ◎ 趣旨

新学習指導要領の定める「言語活動」の授業を実効あるものにするには、教育の中心的な役割を担う学校図書館の充実が不可欠である。この基本的な考えに基づき、①子どもの読書活動と読書教育を促進、②学校図書館の活用教育に必要とされる多様な図書・教材の拡充、③司書教諭、学校司書など人材の十分な配置—について、政官民が連携し、その完全実施に取り組むこととする。

### ◎ 国会、自治体の具体的な政策課題

- 1) 教職員養成課程における図書館活用教育の必須化
  - ・読書指導、図書館活用のできる教職員の養成
- 2) 読書時間のカリキュラム化
  - ・読書習慣を身につけるための読書教育の促進
- 3) 学校図書館の蔵書拡大、新聞配備の促進
  - ・調べ学習・新聞活用教育に必要な教材の整備
- 4) 学校司書の全校配置、司書教諭の専任化の推進
  - ・いつでも人のいる学校図書館の実現
- 5) 学校図書館の電算化促進
  - ・学校図書館管理システムの整備、蔵書・資料のデータ化
- 6) 学校図書館法の再改正
  - ・小規模校への司書教諭の配置、学校司書の法制上の位置づけ

### ◎ 啓発活動について

- 1) 国会議員、自治体議員、民間による学校図書館・公共図書館の視察
- 2) 読書環境・学校図書館整備フォーラムの開催による啓発活動
- 3) 各学校図書館の現状に関する情報交換

以上

すばらしい内容です。絵に描いた餅にならないように私たちも応援・見守りをしていきたいものです。